

若者のSOSを受け止める アウトリーチの作り方

若者支援に関わる方向けの研修です。

SOSを出しにくい若者の理解を深め、支援につなげる施策づくりを行います。

研修内容

- 第1部 なぜ若者のSOSは届かないのか
「助けて」と言えない心理と社会の要因
- 第2部 これまでとこれからのアウトリーチのあり方
- 第3部 アウトリーチを考える際の3つのポイント
既存の事例の紹介
- 第4部 グループワーク
若者のSOSを受け止めるアウトリーチ策を
グループで企画する

このような方におすすめ

- 効果的なアウトリーチの実施を
考えている方
- 公的機関、社会福祉法人、医療機関、
NPO等で若者支援に関わる方
- 児童虐待防止、子育て支援、DV被害者
支援、自殺対策、生活困窮者支援、医療
支援等に関わる方
- 支援が届いていない若者に、支援を
届けたいと考えている方

講師 伊藤 次郎



NPO法人OVA 代表理事
精神保健福祉士

学習院大学法学科卒業。人事コンサルティング会社(EAPプロバイダー)、精神科クリニックでのうつ病復職支援など「働く人のメンタルヘルス対策」に従事。

2013年6月末にマーケティングの手法で自殺ハイリスクの若者のリーチしようと「夜回り2.0(インターネット・ゲートキーパー)」の手法を開発・実施し、NPO法人OVAを設立。

国内外で講演・論文投稿も積極的に行っている。日本財団「ソーシャルイノベーター」選出(2016)。自殺総合対策東京会議委員(平成29年度~現在)など、複数の自治体の自殺対策計画づくりに携わる。

2017年に起きた座間市の事件後には、ロサンゼルスタイムズ、朝日新聞「社説」など国内外のマスメディアに、活動と提言が多数掲載された。内閣官房の有識者ヒアリングや関係省庁への要望書を通じて、ネット上にあふれる若者のSOSの現状とニーズに合わせた相談窓口設置の重要性を国に直接訴えた。

過去のアウトリーチ研修開催例

厚生労働省
全国婦人相談所長及び婦人保護主管係長研究協議会
「若い女性の『声なき声』を受けとめる
ー支援を積極的に届ける方法についてー」

ネット相談の活用方法や、効果的なアウトリーチの考え方について講義。

開催詳細

開催日：2019年1月31日(木)
13:00~17:00

参加費：無料

定員：50名(1団体2名様まで)

場所：新宿区高田馬場4-36-12
新宿NPO協働推進センター

お申込み方法

メールもしくはお電話にてお申込み下さい。

件名：1月31日研修申し込み

本文：参加者氏名・ご所属・当研修をどこで知ったか

メールアドレス：info@ova-japan.org(担当：土田)

電話番号：03-5358-9580

主催

特定非営利活動法人 OVA

東京都新宿区高田馬場4-1-7

市川ビルデンス501

